

会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回日向市地域公共交通会議
開催日時	令和4年5月25日（水） 13時30分から15時00分まで
開催場所	日向市役所4階 第1～3委員会室
出席者	別紙一覧
議 題	日向市地域公共交通会議設置要綱の改正について 令和3年度市民バスの運行状況について 令和4年度事業計画（案）及び当初予算（案）について 日向市地域公共交通計画の作成について 「南部ぷらっとバス」の一部運行路線変更に向けた試験運行の延長について 令和5年度生活交通確保維持改善計画認定申請について
会議資料の名称 及び内容	【資料1】 日向市地域公共交通会議設置要綱の改正について 【資料2】 日向市市民バスの概要について 【資料3】 令和4年度事業計画（案）及び当初予算（案）について 【資料4】 日向市地域公共交通計画の作成について 【資料5】 「南部ぷらっとバス」の一部運行路線変更に向けた試験運行の延長について 【資料6】 令和5年度生活交通確保維持改善計画認定申請について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付 任期令和6年3月31日まで</p> <p>3 会長あいさつ 公共交通は、移動手段としてだけでなく、まちづくりにとって非常に重要な社会資本。その一方、少子化や人口減少で利用者は減少傾向にあり本市市民バスもコロナ禍の前より2割以上利用者が減少し非常に厳しい状況。今後ワクチン接種率の向上とともに、感染防止対策に協力いただき、利用者増に期待したい。 本日は、協議事項が多岐にわたっているが本市の地域公共交通を確保できるよう、皆様</p>	

からご意見をいただきたい。

4 協議事項①

■日向市地域公共交通会議設置要綱等の改正について

事務局から、配布資料に沿って説明。

→原案のとおり承認

5 委員・事務局員紹介

6 令和3年度市民バスの運行状況について

事務局より配布資料に沿って説明。

〈委員からの意見〉

○委員

利用者減少は新型コロナウイルスが原因なのか。

○事務局

令和2年、3年はコロナ禍が大きく影響を受けていると考えられるが、もう一つの要因として、日向サンパーク温泉休館が大きいと考えられる。

○委員

無料乗車券を配って利用促進につなげているとのことであるが、障がい者団体の行事等の場で機会を作ってもらうことはできないのか。

○事務局

10人程度で利用促進の説明後に乗車体験ということで無料券を配ってきた。大人数に配るとなると検討が必要。利用促進活動ということで伺えるような部分があればご相談いただきたい。

○委員

利用者減少の原因は、コロナ関係が大きいと話があったが、今年は感染者は増えているものの、移動制限が今かけられていない中で、ゴールデンウィーク以降も人の動きがかなり戻っていると聞いているが利用状況はどうか。

高齢者免許証返納時に市民バス半額券を20枚交付との説明があったが、免許証返納者の最近の増加率や半額券の利用がどれくらいあるのか教えていただきたい。

○事務局

令和4年4月でみると、前年同月より乗車人数については増加している。

半額券の利用については直近の数値を確認できていない。

→その後、R3年度の実績を確認。

警察署での交付数は20枚セットが208冊（人）。

半額券の利用枚数は958枚。

○委員

免許返納については、コロナ禍で右肩上がりまではないが増加している。

7 協議事項②

■令和4年度事業計画（案）及び当初予算（案）について

事務局より資料に沿って説明。

→原案のとおり承認

■日向市地域公共交通計画について

事務局より資料に沿って説明。

〈委員からの意見〉

○委員

・これまでの日向東臼杵地域の公共交通網形成計画は、直接的に日向市のバスを取り扱っているものではない。今回作られる計画はあくまで市域内で完結なので、網形成計画が地域公共交通計画にスライドしてるように言われるのは趣旨が違う。宮交バスやJRなど日向市の中で完結しない話もある。そこも含めて連動を取っていく必要がある。

JRも宮崎交通バス路線も非常に厳しい状態であることは報道で出ているので、そこも含めて計画するよう仕様書に書くなり留意してほしい。

- ・バス路線が国道を通っていることもあり、国の道路管理者を委員に追加することが必要。
- ・南部ふらっとバス路線もJRと重なっていることもあり、例えば駅長を委員に入れるなどJR利用状況を共有してもらうことも必要ではないか。

○事務局

・この地域公共交通計画策定する上の前提として、路線バスを中心とする地域間幹線系統に係る県内全域の地域公共交通計画を宮崎県が作成することになっている。各市町村においてはそれに接続するフィーダー系を中心に計画策定するという整理をしているような状況。県と同時並行で動いていくので、すみ分けについては、宮崎県、運輸支局等にご指導いただきながら仕様書も整理していきたい。

・委員の道路管理者については、先ほど議決いただいた規約の中に「その他交通会議の認めるもの」というところがあるので、追加できるのかどうか、また常時そういったところをお呼びして、駅長や国道河川事務所の関係者の方が入っていただければと考えている。

○オブザーバー（県）

・広域にわたる地域間幹線バス路線等については、本年度から県の方で県全体版の計画の策定を予定。日向市と計画のすみ分けというところを明確にしていきたい。

・日向市の計画でも宮崎交通の路線バスについての調査が必要になってくるかと思うが、県の方で昨年県全域の地域間幹線系統の乗降調査、アンケートを実施しているので、活用してもらい、少しでも効率的に計画の策定ができるように協力していきたい。

■「南部ぷらっとバス」の一部運行路線変更に向けた試験運行の延長について

■令和5年度生活交通確保維持改善事業計画認定申請について

一括

事務局より資料に沿って説明。

→原案のとおり承認

〈委員からの意見〉

○委員

- ・試験運行路線が、乗合バスなんぶ区域と重なっており、共倒れしないか。
- ・南部ぷらっとバスの遅延解消には、折り返し運転を検討すべきではないのか。

○事務局

・試験運行路線は集落しか通っておらず、広大な飯谷・余瀬・田の原地区全体をカバーすることはできないので、乗合バスなんぶの運行は現時点では必要と考えている。南部ぷらっとバスの折り返し運行含め、交通計画策定の中で検討していきたい。

8 その他

○委員

現在、国交省の方でアフターコロナに向けた地域交通のリデザイン重視や検討会というのを立ち上げて協議が進められている。従来から人口減少、少子高齢化に加えて、現在のコロナ禍の影響によって旅客の輸送需要がかつてないほど減少しているということから、交通事業者の収入が減少して事業運営に支障を来している。場合によっては路線の廃止、撤退といった交通崩壊が起きかねないという状況が全国的に出てきており、どのように地域の交通を支えていくのか現在検討している。これまでに3回の検討会があり、これから夏場に向けて中間取りまとめが行なわれる予定。

○委員

公共交通会議でいつもお願いしてるのは、ここで作る計画は、役所の文書を作って終わりという計画ではなく、今後、私達の市はこういう気持ちを持って公共交通を乗って残していくというメッセージを描くもの。バス会社やタクシー会社等とぜひこまめに現状共有をしていただきたい。

運営状況について本当に厳しくなった時に言うのではなく、小出しでこの場で共有して、地域の方々にその現状をわかっていただく場にして欲しい。

9 閉会